

小鹿野町 議会だより

第61号

令和3年2月1日発行

発行/小鹿野町議会
編集/議会だより編集委員会
埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野89番地



疫病を焼き尽くす炎 ～橋詰ドウロク神焼き～

Contents

11月臨時会	②
12月定例会・臨時会	②～④
審議結果一覧	⑤
一般質問	⑤～⑧

11月臨時会、12月定例会・臨時会が行われ、条例改正、新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算や財産の処分や取得についてなどを審議しました。

第5回11月臨時会

会期 11月25日

本議会では、小鹿野町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例をはじめ、町長提出議案5件が上程されました。慎重審議のうえ、すべての議案を可決しました。

専決処分

令和2年度小鹿野町一般会計補正予算(第5号)

固定資産税の課税誤りに関する還付額(700万円)を計上したほか、65歳以上の高齢者が受けるインフルエンザ予防接種における自己負担分に対し、埼玉県が補助金を交付し、促進を図る事業の実施に伴い、接種者が増加することを見込んでの増額補正(834万5千円)し、歳入歳出それぞれ1534万5千円追加したものです。

条例改正

小鹿野町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

議会議員の期末手当の支給額を今年度の支給分より年間0・05月分引き下

げるものです。

小鹿野町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国人事院及び埼玉県人事委員会の勧告に準じて、一般職の職員の期末手当の支給割合を年間0・05月分引き下げるものです。

【討論】(要約)

〔原案に反対〕

7番 出浦 正夫

この議案が可決されると、民間でも公務員さえ下げられたのだから、一般の働く人たちの賃金を下げるのもやむを得ないという雰囲気醸し出されると思います。

そして、日夜奮闘している医療従事者も一緒に減額になります。

また、小鹿野町の職員の給与水準は埼玉県でも低い方から数えて何番目かの状態にあり、そういう状態でお引き下げるのは問題だと考え、反対します。



第6回12月定例会

会期 12月8日～9日

本議会では、小鹿野町けんこう交流館条例をはじめ、町長提出議案13件、議員発議1件、請願1件が上程されました。慎重審議のうえ、2議案が撤回、12議案を可決し、請願1件を継続審査としました。

条例の廃止

小鹿野町児童館条例を廃止する条例

子育て支援センターに地域子育て支援拠点事業の集約を図るため、小鹿野町児童館を廃止するものです。

条例の新設

小鹿野町けんこう交流館条例

旧小鹿野町児童館を小鹿野町けんこう交流館として使用するものです。

条例の改正

小鹿野町デイサービス条例の一部を改正する条例

倉尾デイサービスセンターを廃止し、小鹿野デイサービスセンターを再編成するものです。

補正予算

令和2年度小鹿野町一般会計補正予算
(第6号)

期末手当の支給割合の変更に伴う調整を行ったほか、ふるさと納税寄付金に係る委託料や、国庫支出金を財源として、誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業の追加(1528万8千円)、県支出金を財源として、学童クラブや児童福祉施設等が行う新型コロナウイルス感染症対策に對しての補助事業(473万2千円)などを追加し、歳入歳出それぞれ4787万1千円を追加するものです。

財産の取得

議会議場の音響機器更新のため、無線式会議ユニット30台、マイクロホン30台、マイクコントロールユニット1台ほか必要機器一式を814万円で株式会社 東和エンジニアリング関東支店(さいたま市)と取得契約することについて可決しました。

人事案件

次の人事案件について適任者と認めました。
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

渡部 幸夫 氏

請願

障害者福祉行政の充実、障害者福祉施設の設定に関する請願書

請願者

小鹿野町障害者福祉を考える会

会長 新井 恵美 外2, 887名

紹介議員

出浦 正夫

本請願は、12月定例会2日目(9日)に上程し、文化厚生常任委員会に付託となり、閉会中の継続審査となりました。

意見書の提出

防災・減災、国土強靭化対策の継続・拡充を求める意見書

提出者

高橋 謙治

賛成者

加藤 喜一 笠原 義行

出浦 正夫 岩田 和幸

議員発議による「防災・減災、国土強靭化対策の継続・拡充を求める意見書案」が提出され、全会一致で可決しました。

意見書の内容は、国に對し「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」の期限延長や、地方自治体への国土強靭化のための財源を安定的に確保する措置を講じるように求めるものです。

可決された意見書は、内閣総理大臣ほか関係行政庁に提出しました。

第7回12月臨時会

会期 12月25日

本議会では、12月定例会で撤回した町長提出議案2件が上程されました。慎重審議のうえ、財産の処分についての議案を可決し、財産の取得についての議案を否決しました。

財産の処分

藤倉寺平・腰越地内の町有林間伐材を小鹿野町役場新庁舎建設に使用するため、スギ材2559本、ヒノキ材461本を843万5438円で秩父木材協同組合に処分契約するものです。

【討論】(要約)

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

一般的に家を建てる時には、建設業者に全て任せるのか、自分の家の木を切って使うのかを一番最初に考えるべきです。役場新庁舎の設計をプロポーザルに出しましたが、しっかりと検討されていなかったことから、色々な問題が出てきていると思います。また、売って買ってとなると経費が高くなってくると思いますので、反対します。

【原案に賛成】

10番 加藤 喜一

本議案は町有林の間伐材を売却するという議案です。今回、町有林を伐採して、それを売却して、その後はまた町の財産として買うということ、適正な森林を保つことと、町有林の効果を上げるという意味において、この議案に賛成します。

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

この議案は非常に複雑な財産の処分になっていきます。JAS認定の工場で製材しなくても、町の製材業者でも可能だったかもしれないと答弁を聞いて感じました。この町有林間伐材の売り渡しについて、町民になぜこんな複雑な事をするのかと聞かれた時に、うまい説明ができないと思います。行政に求められるのは公平さ、透明性だと思います。その点から問題があると考え、反対します。

【討論】(要約)**【原案に反対】**

9番 岩田 和幸

基本設計ができていないのに、材木の拾い出しを行う件について、非常に不可解で問題が多いと考え、反対します。

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

今回の製品全て、JAS材でなければならぬという所に一番の問題があると思います。公共建造物であっても準耐火構造やJAS材でなくても大丈夫という話がありました。それならば、地元の製材業者が注文に応じて挽き、製品にしたのでも問題はないと考えます。

基本設計も決まらないうちに、構造物や部材を発注するのも理解できません。また、今回は第一次発注で、第二次、第三次発注もあるとのこと、そうすると役場庁舎の建設は一体いくらの費用がかかるのか分からなくなってしまうのではないかと思います。そうした事を懸念すると賛成しかねるので、反対します。

【原案に賛成】

10番 加藤 喜一

私は町民が安心して使える庁舎を造るためには、やはり、JAS規格のものをしっかり使って、後世に残すことが必要不可欠ではないかと思えます。

なぜ、JAS規格にもないものを使ったのか、また小鹿野町には山や町有林があるのに小鹿野町の木材を使わなかったのかと言われた時に説明がつかえません。価格においても適正な価格で取引するというこの議案に反対する理由がありません。

【原案に反対】

12番 強矢 好光

町内の業者を使いたいという気持ちは分かりますが、中身に問題があります。

まず指名参加(資格申請)が出ておらず、指摘をして後日提出した経緯があったこと。また、協同組合の中に注材ができる業者があるのに、伊勢崎の業者に出そうとしていること。何かなんでも協同組合にやらせようとしています。また、根本的に色々調べていません。

労災についても各業者が加入しているから良いと言うけれども、協同組合が受けてやるのだから協同組合で労災に入るべきだと思います。以上のことから反対します。

財産の取得

小鹿野町役場新庁舎建設の資材として使用するため、スギ材1175本、ヒノキ材120本を1596万1772円で秩父木材協同組合と取得契約するものです。

予算・条例等の審議結果

(○は賛成、●は反対した議員)

議案名	議員名	菅原義行	高橋耕也	高橋謙治	齋藤 維	山中豊彦	猪野武雄	出浦正夫	眞下 登	岩田和幸	加藤喜一	黒澤光司	強矢好光	
11月臨時会	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度小鹿野町一般会計補正予算（第5号））	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	-	○	
	専決処分の承認を求めることについて（工事請負変更契約の締結について）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	
	小鹿野町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	
	小鹿野町町長及び副町長の給与等に関する条例及び小鹿野町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	
	小鹿野町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	○	●		○	○	-	○	
12月定例会	小鹿野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	資格喪失（逝去による）	○	○	-	○	
	小鹿野町児童館条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	
	小鹿野町けんこう交流館条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	
	小鹿野町デイサービスセンター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	
	令和2年度小鹿野町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	
	令和2年度小鹿野町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	
	令和2年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	
	令和2年度小鹿野町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	
	令和2年度小鹿野町浄化槽設置管理等特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	
	財産の処分について（町有林）	撤回												
	財産の取得について（建設用木材）	撤回												
	財産の取得について（議場用音響・通信器具類ほか）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	-	○
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（渡部 幸夫氏）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	-	○
	障害者福祉行政の充実、障害者福祉施設の設置に関する請願書	継続審査（文化厚生常任委員会付託）												
防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○		
12月臨時会	財産の処分について（町有林）	○	○	○	○	●	○	●	●	○	-	●		
	財産の取得について（建設用木材）	○	○	●	●	●	○	●	●	○	-	●		

※ 黒澤光司議員は議長のため採決に加わっていません。

※ 条例の内容については町ホームページの「小鹿野町例規集」でご確認いただけます。

町政に対する一般質問

一般質問一覧（質問順）

<p>猪野 武雄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍と対策に関して ・幹線道路の整備に関して ・地方創生に関して ・課長級人事に関連して ・教育に関して ・有害鳥獣対策に関して <p>岩田 和幸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残土捨て場について ・道路行政について ・水道について <p>高橋 謙治</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の振興について ・新庁舎建設について ・クライミングパーク神怡館について ・消防団について 	<p>出浦 正夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症への対策について ・障害者福祉の充実について ・子育て支援について ・水道料金値上げの対応について ・安全登山・遭難防止の推進について <p>齋藤 維</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通対策について ・集落支援員制度について <p>笠原 義行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の教育環境について ・地域商社について ・令和3年度について
---	--

○6～8ページに各議員から提出された一般質問の要約を記載します。

町政に対する一般質問

12月定例会

コロナを早期に退散させて 穏やかな日々の実現を！



猪野 武雄 議員

質 令和3年度町予算編成においてコロナ禍による収支不足などの影響がなにか伺いたい。

答 歳入では、住民税や交付税の減額が見込まれるため、財政調整基金を取崩して対応する予定である。歳出では、これまで実施してきた普通建設事業による公債費が増加傾向にあり、今後、新役場庁舎建設も予定されている。このため、事業実施の優先度や事業規模の適正を精査する一方、経常的経費の削減に積極的取り組み、財政運営を維持できるように努めたい。

員が受けられるよう拡大できないか。

答 検査拡大の必要性を認めるが、費用面の手当てなどの課題があつて悩ましい。しかし、今後、国や県と連携して進めていきたい。

質 町の悲願である長尾根トンネル等の整備では、大滝トンネルの完成後の県事業として国の個別補助事業採択を目指すことになる。早期実現に向けた町長の所見は…。

答 県が、先般示した考え方は、町がこれまで要望していた内容とは異なる部分もあるが、実現の可能性が高いものと受けとめている。今後、本整備が、町にとって少しでも有利な条件で検討が進められるよう関係機関と

将来負担の軽減を 考慮した庁舎建設を



高橋 謙治 議員

質 新庁舎建設について、現在の状況と課題、今後について伺います。

答 町民ワークシヨップやパブリックコメントの意見を反映させながら設計を進め、木材は町有林を使用し、町内の工場で製材できるように配慮しています。

また高気密高断熱でライフサイクルコストに配慮した設計を考え、空調などのエネルギーを極力必要としない技術や、再生可能エネルギーを活かしたZEB庁舎を目指し、パッシブハウスの考え方を参考にします。

課題は、建設費を抑えつつも環境性能の高い庁舎とする為のコストバランスを精査し設計を進めることと、設計スケジュールの管理です。

設計は、予定通り令和3年3月までに終わらせ、工事に入れるよう進めています。

年間一次エネルギー消費量は数値化し、改めて説明をします。

環境省ZEB補助金申請の時期に間に合うよう進めます。

質 概算費用について、トータルライフサイクル

コストが重要であると言っていますが、資料によると一般庁舎で建てた場合、ZEBで建てた場合、パッシブ基準相当で建てた場合に、一般庁舎とZEBでは、トータルライフサイクルコストがほぼ変わらず、パッシブ基準であれば、45年後に8000万円減の差異が出るが。

答 パッシブハウス基準ではイニシャルコストがはつきりしていないため、イニシャルコストを抑えつつもライフサイクルコストも抑えるという意味でZEB庁舎の方針です。

質 色々な要件、考慮すべき問題課題が出てきているが、完成時期を一年遅らせて、できるだけ将来の負担を軽減する庁舎の検討はどうか。

答 一年先送りというのは非常に厳しいと考えます。トータルバランスを考え、見極めながら、進めていく必要があると考えます。

※ZEB…ゼロエネルギービルディング



放課後デイサービス実現を！ 二子山の滑落事故について

出浦 正夫 議員

質 町長は、「にじいろテラス」、長瀬町の障害者放課後デイサービス施設を視察されたとのことですが、所感を伺います。

答 私は、秩父社会福祉事業団が今年8月に秩父市寺尾に開設した「にじいろテラス」を9月24日に視察いたしました。次に長瀬福祉会が長瀬町野上で運営している高齢者デイサービスセンター・今年2月に開設した共生型放課後デイサービス「くつろぎ」を9月28日に視察いたしました。

私はこれらの施設の視察を通じて、改めて児童生徒の皆さんの交流や体験の場所となる放課後等デイサービスの大切な役割を再確認いたしました。町内においても共生型の放課後デイサービスの開設を社会福祉法人等に依頼していくのが望ましい

のではないかと考えております。

質 クライミングによる町おこしに関連して伺います。11月1日に二子山で発生した滑落事故の状況・滑落した方はどこの人か等の把握をしておりますか伺います。

答 埼玉県警のホームページから情報収集しております。滑落した方がどこの方が詳細は承知してございません。

質 滑落した方は両神の人ですが、これまでもクライミングにも協力してきた人です。町としても事故の状況を調査し、ご家族への説明をするべきではないですか。

答 この件については、すぐに情報が入りまして大変心配しております。その後の容体についても何人もの方に伺い心配しております。なかなか

面会する機会がなくてご家族の方にお会いできていないのは事実です。非

常に手落ちがあったのじゃあないかと今、反省しております。



高齢化の進む集落支援

齋藤 維 議員

質 当町での集落支援員制度の運用の実態について伺います。

答 まず、集落支援員制度は、地域の実情に詳しい人材で、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材を支援員に委嘱し、集落への「目配り」として、集落の状況把握、集落点検の実施、住民と住民、住民と市町村の間での話し合いの促進等を実施するもので、他の自治体例では、集落が抱える課題解決から、草刈り、雪下ろしまで、多様な活動を行っております。本町の集落支援員については、地域おこし協力隊員として農業振興に3年間従事し、住民と

に対して十分な目配りを行う為には集落支援員制度の更なる運用が必要と感じますが、町の考えを伺います。

答 人口減少及び高齢化が進行する本町において、地域づくりを主体的に担うコミュニティ組織の基盤強化と地域の特性を活かした魅力のある地域づくりを推進するうえで、行政や関係団体などと連携できる人材、かつ、地域のアドバイザー及びコーディネーターの役割を担える人材を集落支援員として導入することで、住民自らが地域の現状と課題を把握することもできますので集落支援の導入を検討してまいります。





「次代へ歩む 新小鹿野町の創造」

笠原 義行 議員

町の教育環境について

質 町の状況や今後の人口推移等を考えたうえで、小学校は適正配置適正規模であるのか。

答 適正かどうかについては、様々な要素が関係することではありますが、あくまでも児童生徒の教育条件の改善の観点を中心に捉え、学校教育の目的や教育目標をよりよく実現するためのものであります。学校教育施行規則等の国法においては、小学校の学級数は12学級から18学級までを標準または適正としています。本町の小学校は伝統的に地域の信頼、地域との結びつきは深いものがあり、教育のための施設であるだけでなく地域コミュニティの拠点として防災、保育、地域交流の場等、大きな役割を果たしてきました。そこで、本年度、各小学校区に「地区学校

教育推進協議会」を立ち上げ、学校が持つ様々な機能にも留意しながら直接の受益者である児童保護者、就学前の保護者の声を重視しつつ、発展的な推移が望めるよう進めたいと思います。

令和3年度について

質 新型コロナウイルスの状況が予想しにくい中、町主催の各種事業や新事業の計画、また財政面を考えたとき、どのように運営していくのか。

答 町主催の事業につきましては、毎年度実施している事務事業評価において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業、集客施設運営事業等を選定し、想定される課題と対応策、事業継続等を精査し、事業提案予算要求するよう指示しております。財政状況については、歳入、歳出ともに新型コロナウイルス感

染症の影響を注視し、令和3年度予算編成において、歳入では国庫補助金をはじめ、あらゆる財源の確保に積極的に取り組み、歳出においても、効

果の見込めない事業のスクラップについて積極的にを行うとともに経常的な経費等についても常に改善することを意識するよう指示いたしました。

議員逝去の報告

眞下登議員が昨年12月7日に急逝されました。心よりご冥福をお祈りします。

議長交際費の公開 ■ 令和2年9月～12月

11月25日	慶弔規約に基づく議員入院見舞金	10,000
12月10日	慶弔規約に基づく議員告別式香資料、生花料	35,000
令和2年度 支出合計		48,000

議会の傍聴をしませんか！

町の議会は、年4回の定例会（3月・6月・9月・12月）と、必要に応じて臨時会が開かれます。

町政の動きを知るためにも、気軽に傍聴してください。

次回定例会は、3月上旬開催予定です。

※小鹿野文化センター・両神庁舎・両神ふるさと総合会館のテレビモニター中継もご利用ください。

議会会議録が閲覧できます！

小鹿野町議会ホームページで、平成21年以降の議会会議録が閲覧できます。ぜひ、ご利用ください。

右のコードまたは「小鹿野町議会」で検索ください。



編集後記

寒中お見舞い申し上げます。新年を迎え早一ヶ月が経過しました。新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言がでています。細菌やウイルスが蔓延する乾燥期です。行動や乾燥対策に配慮し感染拡大防止と自己防衛に十分注意しましょう。十二月議会は2日間に亘り活発な質疑が繰り返されました。その内容を限られた紙面上で可能な限り分かりやすく正確にお伝えできるとも思います。これからも、皆さんに親しまれ関心を持ってお読み頂けるよう、研究工夫を重ねて参りますのでどうかご期待ください。

▼議会だより編集委員会

委員長	高橋 謙治
副委員長	山中 豊彦
委員	高橋 耕也
〃	加藤 喜一
〃	黒澤 光司
〃	猪野 武雄